

(3) ビューティーメイクコース

教科科目	科目の特長	科目の目標
香粧品学	香粧品と医薬部外品の相違点について理解を深める。また、教科書を中心に原料物質を勉強すると同時に、実際にどのような香粧品原料が使用されているか、自分が使っている化粧品の成分についても学ぶ。	香粧品や基礎化粧品メイクアップ用品の原料物質・性質を理解する。正しく理解することで、肌の状態、季節など、肌を取り巻く状況に応じて香粧品の使い分けができるようになる。
接客マナー	社会人としての常識を身につけ、人との絆、人間関係のあり方を築くことの大切さを学び、魅力ある社会人としてのマナーを習得する。	自己表現力、立ち居振る舞い、言葉づかい、手紙の書き方の習得を目標とする。
デッサン	デッサンとは何かを知り、観察力・想像力を養い、それを表現する力を身につけることにより、メイクアップ技術向上のための基礎力を培う。	人体のクローキー、人体・顔の比率、模写、立体感、質感・量感の技術を習得する。
心理学	心理学についての基礎となる部分について学び、人のこころのあり方についての理解を深める。日常の対人場面で応用できるよう、具体的な例を挙げ修得する。	心理学の基礎知識を学び、対人場面にも応用が可能となるように、心理学的な視点を獲得することを目標とする。
メイク II	メイクアップ技術者として必要なマナーをふまえた基本技術を身につけ、JMA日本メイクアップ技術検定協会セルフメイク検定試験内容に関する知識と技術を習得する。顔の分析方法を理解し、自分自身のメイクアップを仕上げるプロセスを身につける。	JMA日本メイクアップ技術検定協会セルフメイク検定試験の合格を目標とする。
メイク IV	「メイク I」「メイク II」で習得した知識・技術をもとに、モデルの顔分析を行った上でのイメージ表現を学び、国際的に通用するメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。	IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティストライセンス認定試験の合格を目標とする。
メイクアドバンス I	顔の筋肉や顔分析を行った上でより高度な顔のバランスを考えてトータルイメージ・ヘアメイクアップを身につける。また、ブランドメイクなど多方面のヘアメイクに触れ感性や表現力を磨き実力をつける。	顔分析を取り入れプロフェッショナルな技術を学びメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。
メイクアドバンス II	各々の感性や表現技術を駆使して、卒業前に2年間の集大成の作品を制作し、これをコンテスト方式にして入賞をめざす。	作品を制作する。プロフェッショナルな技術を学びメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。
ブライダル I	ブライダル業界で求められる実務知識や技術(主にヘアの基礎知識やヘアアレンジ)を、講義と実践を通じて習得する。	ブライダルに関する基礎知識や基礎技術の習得を目標とする。
ネイル I	ネイリストとしての基礎であるネイルケア、ファイリング、カラーリング、フラットアートを中心に検定合格レベルに達するように、実技、学科を進めていく。	JNEC日本ネイリスト協会ネイリスト検定3級の实技試験合格を目標、JNAジェル検定初級筆記試験の合格をめざす。
ネイル II	JNEC日本ネイリスト協会ネイリスト検定2級の实技、筆記試験の習得。また、JNAジェル検定中級試験の实技、筆記の習得。	JNEC日本ネイリスト協会ネイリスト検定2級の实技試験合格を目標、JNAジェル検定中級筆記試験の合格をめざす。